

デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HDC-331			※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
				平成 年 月 日	本 体 : 1 年
※お客様	ご 住 所	〒 -			
	ご 芳 名	様			
※販売店	住 所	〒 -			
	店 名	TEL			

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ) 車輌、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ) 本書のご提示がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙のご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後3年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 (アクロポリス東京)

TEL. 03(3260)9611

FAX.03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

取扱説明書

日立リビングサプライ

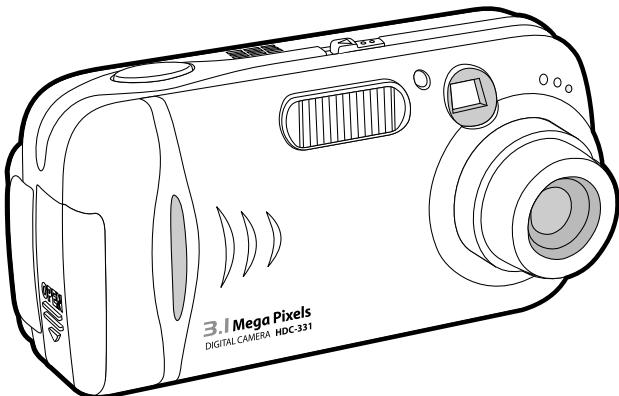
保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ

HDC-331形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-331」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



クイックスタートガイド

「とにかく使ってみる」 P93

i mega

目次

はじめに

■ 安全上のご注意	3
■ あらかじめご承知頂きたいこと	6
■ 使用上のご注意	7
■ 商品概要	9
■ 同梱品	10
■ 各部の名称	10
■ 液晶モニターの表示	14

基本操作編

18

準備する	19
■ 電池を入れる	19
■ 電源のオン／オフ	21
■ 日付／時刻を合わせる	22
■ SDメモリーカードを使う場合	23
■ 初期設定に戻す	25
静止画／動画を撮る	27
■ 静止画を撮る	27
■ ズームを使う	32
■ ストロボを使う	34
■ 近距離撮影をする(マクロ撮影)	36
■ 動画を撮る	37
静止画／動画を見る	39
○ ズーム再生をする場合は	39
○ インデックス再生をする場合は	40
○ 動画を再生する場合は	40
画像を消去する	41
テレビを使って再生／撮影する	43

応用操作編

46

準備について	47
■ 表示言語を設定する	47
■ 日付の表示形式を設定する	48
■ サウンドのオン／オフを設定する	49

■ オートパワーオフの時間を設定する	50
■ 液晶モニターの明るさを設定する	51
■ ACアダプター(別売)を使う	52

撮影(静止画／動画)について

■ 画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する	53
■ ホワイトバランスを設定する	55
■ 露出(明るさ)を設定する	56
■ シャープネスを設定する	57
■ プレビューのオン／オフを設定する	58
■ セルフタイマーで撮る	59

再生(静止画／動画)について

■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする	60
■ スライドショー再生をする	62
■ 画像プロジェクトを設定する	63
消去について	64
■ フォーマットする	64

パソコン接続編

66

画像ファイルをパソコンにコピーするまでの流れ	67
①パソコンの動作環境を確認する	68
②HDC-331 Driverをパソコンにインストールする (Windows98/98SEをお使いの場合)	69
③USBケーブルでパソコンと接続する	71
④画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ／ライタ接続)	73
⑤カメラを取り外すときは	75
HDC-331 Driverをアンインストール(削除)する	76

付録

78

■ 故障とお考えになる前に	79
■ 仕様	87
■ サービス／ご相談窓口	92
■ クイックスタートガイド「とにかく使ってみる」	93

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

△警 告



異常が起きたら、電池を外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。



移動しながらの撮影は絶対にしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。



内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

落としたり、ケースが破損したときは使用しない。

火災・感電の原因になります。

●お買上げ店にご相談ください。



本機や電池を火の中に投げ入れない。

破裂による火災やけがの原因になります。



種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。

または指定外の電池を使用しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。



アルカリ電池に注意する。

アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。



電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。電池を金属製品と一緒に保管しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。



指定外の方法で電池を使用しない。

電池は極性（ $+$ $-$ ）表示どおりに入れてください。

⚠ 注意



コネクタ部には、指定以外のものと接続しない。
火災・感電の原因になります。



大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。



飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。
事故の原因になることがあります。



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。火災の原因になることがあります。



本機の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- ・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- ・万一、本機または付属のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- ・故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- ・MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・QuickTimeは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- ・SDロゴは登録商標です。
- ・その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0°C～40°C（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。

本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。また、単3形マンガン乾電池は使用できません。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下の取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
 - 通信中にUSBケーブルをはずした。
 - 記録、USB接続中に電池、ACアダプター（別売）をはずした。
 - 記録中にACアダプター（別売）を接続もしくははずした。
 - 消耗した電池を使用し続けた。
 - 電源オンの状態で、メモリーカードを出し入れした。
 - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカード（別売）を使用できます（32/64/128/256/512MB対応）。（株）アイ・オー・データ機器のSDメモリーカードを推奨します。ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書**をよくお読みください。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消滅または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- メモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、付属のクリーナーやプロアーでゴミやホコリを吹きとつから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

■ 商品概要

本製品は、315万画素CCDイメージセンサー、光学3倍ズームレンズを搭載し、初心者の方にも安心してお使い頂けるデジタルカメラです。
主な特長は以下の通りです。

初めての方へのらくらく便利機能

- 摂り方シール&ボタン説明シール標準貼付
- らくらく初期設定機能
- わかりやすいフォーカスロック表示

P26

P29

主な特長

- 鮮明な画像をキャッチする315万画素CCDイメージセンサー搭載
- きれいな画像でそのまま拡大できる光学3倍ズームレンズ採用
- 見やすい1.5型TFTカラー液晶モニター搭載
- 保存も安心の内蔵16MBフラッシュメモリ&コピー to SDカード機能
- SDメモリーカードスロット搭載 (※1)
- みんなで楽しめるビデオ出力端子付き
- 季節の草花やメモ代わりに便利なマクロ撮影機能
- 動画撮影機能
- 多彩な再生モード (ズーム再生(2倍/4倍)、インデックス再生(9分割)、スライドショー再生、動画再生)
- 長時間使用に便利な外部電源対応 (※2)
- すぐに使えるオールインワンパッケージ

P32

P60

P23

P43

P36

P37

P39 P62

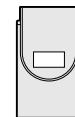
P52

(※1) SDメモリーカード別売です。

(※2) ACアダプターは別売です。

■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。



カメラポーチ



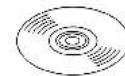
ネックストラップ



専用USBケーブル



専用ビデオケーブル



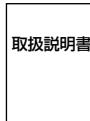
インストール用CD-ROM
(Windows98/98SE用)



単3形アルカリ乾電池2本



クリーナー



取扱説明書 (保証書付)

SDメモリーカード、ACアダプターは別売です。

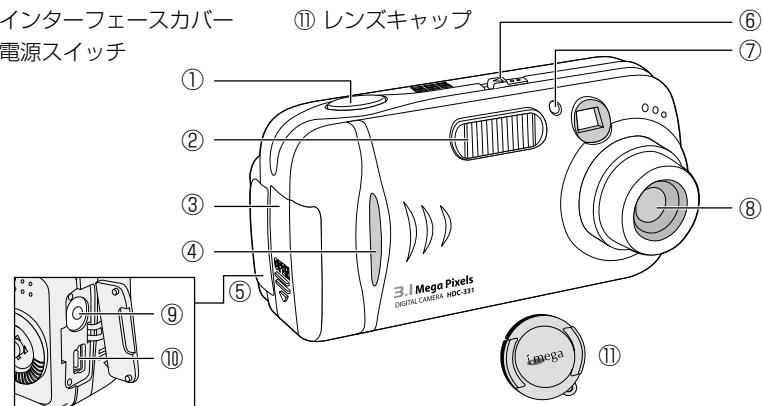
SDメモリーカードを使う場合 P23 ACアダプターを使う場合 P52

以降、この取扱説明書では、専用USBケーブル、専用ビデオケーブルをUSBケーブル、ビデオケーブルと表記します。

■ 各部の名称

正面

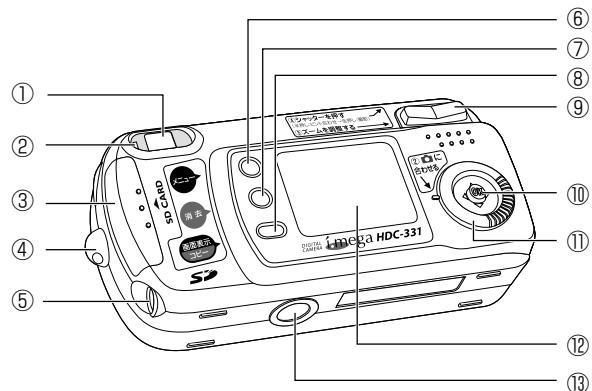
- ① シャッター
- ② ストロボ
- ③ 電池カバー
- ④ ブルーアイランプ
- ⑤ インターフェースカバー
- ⑥ 電源スイッチ
- ⑦ セルフタイマーランプ (レッド)
- ⑧ レンズ
- ⑨ DC入力端子
- ⑩ USB端子
- ⑪ レンズキャップ



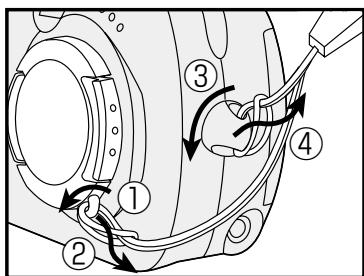
背面

- ① ファインダー
- ② ファインダーランプ
(グリーン／オレンジ)
- ③ SDメモリーカードカバー
- ④ ネックストラップ取付部
- ⑤ ビデオ出力端子
- ⑥ MENU(メニュー)ボタン P13
- ⑦ DELETE(消去)ボタン P13

- ⑧ DISP(ディスプレイ)／COPY(コピー)ボタン P13
- ⑨ ズームボタン P32
 - T** 望遠ボタン **W** 広角ボタン
- ⑩ コントロールパネル
- ⑪ モードダイヤル
- ⑫ 液晶モニター
- ⑬ 三脚ねじ穴

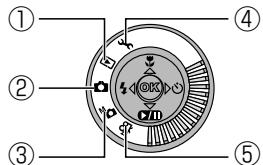


ネックストラップの取付け方



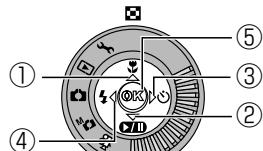
③でストラップ取付部に通したあとに、レンズキャップを③から出た部分に通すと、簡単にネックストラップを取り付けることができます。

モードダイヤル



- ① **再生モード**
静止画／動画を再生したり、画像の消去、内蔵メモリからSDメモリーカードへのコピーをするモードです。
- ② **オート撮影モード**
ほとんどの設定をカメラにまかせて静止画を撮影するモードです。
- ③ **マニュアル撮影モード**
露出やホワイトバランス、シャープネスを設定して静止画を撮影するモードです。
- ④ **セットアップモード**
サウンドのオン／オフや日付／時刻など各種設定を行うモードです。
- ⑤ **動画撮影モード**
動画を撮影するモードです。

コントロールパネル



- ① **インデックス再生** (再生時)
／ マクロ (撮影時)
- ② **スタート／ポーズ** (動画再生時)
- ③ **セルフタイマー** (撮影時)
- ④ **ストロボ** (撮影時)
- ⑤ **OK** ボタン

・メニュー画面での基本的な操作は **【▲】** **【▼】** **【▶】** **【◀】** で項目や設定を選び、 **OK** ボタンを押して決定します。

以降、この取扱説明書では、コントロールパネルでの操作を次のように表記します。

- ・**【▲】** **【▼】** **【▶】** **【◀】** 方向に押す操作
→ **【▲】** **【▼】** **【▶】** **【◀】** を押す。
- **【▲】** **【▼】** **【▶】** **【◀】** で選ぶ。
- ・**OK** ボタンを押す操作
→ **OK** を押す。

■ 動画撮影モード時 動画を撮る P37



- ① 電池残量 P20
- ② 動画撮影モードマーク
- ③ ズームバー P32
- ④ 撮影可能時間
- ⑤ SDメモリーカードマーク
- ⑥ 日付／時刻 P22
- ⑦ ホワイトバランス P55
- AUTO オート
- 太陽光
- 曇天
- 白熱灯
- 蛍光灯
- ⑧ 操作ガイド

■ 再生モード時 静止画・動画を見る P39



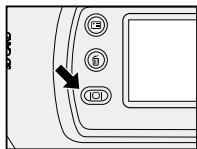
- ① 電池残量 P20
- ② 再生モードマーク
- ③ 静止画の場合
- ④ 動画の場合
- 動画像の場合は、以下の④画像サイズ、⑤画質マークは表示されません。
- ⑤ 画像ナンバー フォルダ名とファイル名のルール P74
- 画像ナンバーは、3桁のフォルダナンバーと4桁のファイルナンバーで構成されています。

$\overbrace{X \ X \ X}^{\text{フォルダ} \ \text{ナンバー}} - \overbrace{Y \ Y \ Y \ Y}^{\text{ファイル} \ \text{ナンバー}}$

- ⑥ SDメモリーカードマーク
- ⑦ プロテクトマーク P63
- ⑧ 操作ガイド ※動画像の場合のみ表示されます。

液晶モニターの表示切替について

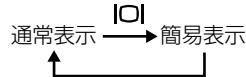
■ / ■ / ■ / ■ の各モード時に [] を押すと、液晶モニターの表示方法を切替えることができます。



■ オート撮影モード / ■ マニュアル撮影モード時



■ 動画撮影モード時



■ 再生モード時



動画像の場合は、画像情報は表示されません。

基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する 19

- 電池を入れる 19
- 電源のオン／オフ 21
- 日付／時刻を合わせる 22
- SDメモリーカードを使う場合 23
- 初期設定に戻す 25

静止画／動画を撮る 27

- 静止画を撮る 27
- ズームを使う 32
- ストロボを使う 34
- 近距離撮影をする(マクロ撮影) 36
- 動画を撮る 37

静止画／動画を見る 39

- ズーム再生をする場合は
- インデックス再生をする場合は
- 動画を再生する場合は

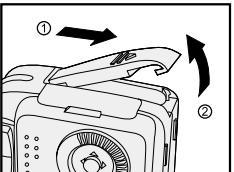
画像を消去する 41

テレビを使って再生／撮影する 43

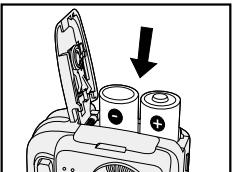
準備する

■ 電池を入れる

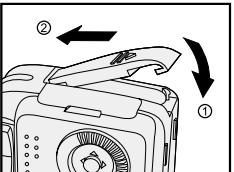
- 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。



- +と-のしるしにあわせて電池を入れます。



- 電池カバーを閉じます。



- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 長時間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単3形アルカリ乾電池以外に、単3形ニッケル水素電池を使用できます。
(日立マクセル(株) HR-3SB推奨)

- 単3形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。

電池寿命の目安 (液晶モニターオン、内蔵メモリ使用時)

電池種類	連続撮影時	循環撮影時		再生時間
		ストロボ発光	ストロボ無し	
単3形アルカリ乾電池LR6	約270枚	約115枚	約160枚	約140分

- 表の数値は、標準環境において、2048×1536／ノーマルモードで、以下の条件で撮影した場合、約3秒1コマを連続で再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。

【連続撮影】ストロボ無しでの撮影を連続で行った場合

【循環撮影】被写体確認5秒→撮影→再生5秒を繰り返し行った場合
※両条件ともにメモリ残量がなくなった時点で全ての画像を消去。

- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。
長時間ご使用にならない場合は、電池をはずして保管することをおすすめします。

電池残量の表示

電池の残量は十分です。

電池の残量が少なくなっています。

まもなく電池の残量がなくなります。

(このとき、ストロボは使用できません。また、**フォーマットする** P64 ときなど、正常に動作しない場合がありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。)

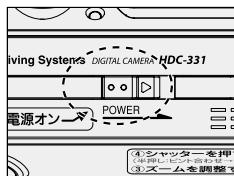
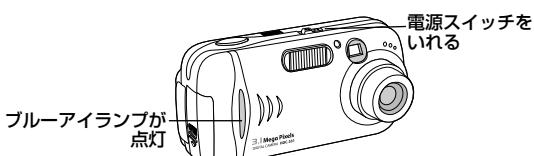
電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

■ 電源のオン／オフ

- 電源スイッチを矢印の方向へゆっくりとスライドさせて、電源をオンにします。

ブルーアイランプの点灯と「ピッ」という音で電源がオンになったことをおしらせします。



- 電源スイッチを矢印の方向へゆっくりとスライドさせて、電源をオフにします。

「ピッ」という音がなって電源がオフになります。

電源スイッチのスライド動作が早すぎると、電源がオン／オフしないときがあります。その場合はゆっくりと操作をやり直してください。

オートパワーオフ機能

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は1分間 **P50**）と、節電のために自動的に電源がオフになります。

再び使用するときは電源スイッチを操作して電源をオンにしてください。

- ACアダプター（別売）を使用しているときの初期設定は5分間です。
- パソコンとUSB接続しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合など内部時計がリセットされた場合には、モードダイヤルの位置に関わらず、日付／時刻を設定する画面が電源オン時に表示されます。その場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- 「年」「月」「日」「時」「分」の順にコントロールパネルを使って合わせます。

【▲】【▼】：+ - 【◀】【▶】：数値の決定と項目の移動

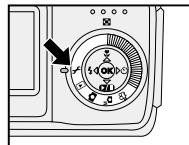


- 「分」まで合わせたら **OK** を押します。

日付／時刻が設定されます。

一度設定した日付／時刻を合わせ直す場合は

- モードダイヤルを  にします。



- [セットアップ1/2] メニューから【◀】【▶】で、[セットアップ2/2] メニューを選び、【▲】【▼】で [日付／時刻設定] を選び、【▶】を押します。



- 上記の手順と同様の操作で日付／時刻を合わせます。

- 日付の表示形式は変更できます。詳しくは日付の表示形式を設定する **P48** をご覧ください。
- 電源交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約10分間バックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付／時刻の設定がクリアされる場合があります。
- 設定された日付／時刻は、電源をオフにした後や初期設定に戻す **P25** 操作を行っても保持されます。

■ SDメモリーカードを使う場合

SDメモリーカードについて P8

本機はSDメモリーカード(別売)を使用することができます
(32/64/128/256/512MB対応)。

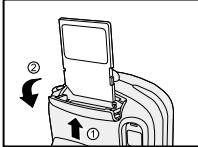
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます(内蔵16MBフラッシュメモリ搭載)。
また内蔵メモリ内の画像データをSDメモリーカードへコピーする P60 こともできます。

●撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間／データサイズ P88 をご覧ください。

●以降、この取扱説明書ではSDメモリーカードのことをメモリーカードと表記します。

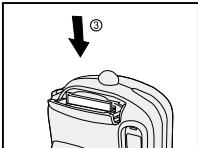
- メモリーカードを使用するとメモリーカードが優先され、内蔵メモリに記録したり、内蔵メモリ内の画像を再生したりすることはできません。
- メモリーカードの交換は電源をオフにして行ってください。

● SDメモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます(①→②)。



● SDメモリーカードを挿入します③。

メモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。



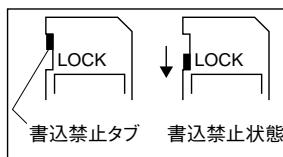
● SDメモリーカードカバーを閉じます。

メモリーカードを取り出すには

SDメモリーカードカバーを開き、メモリーカードを1回押して取り出してください。



メモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)について



メモリーカードにはライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチがついています。

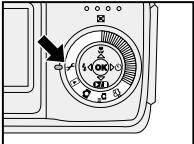
ライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「SDカードロック！」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

- 他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット(初期化)してから使用してください。フォーマットする P64
- メモリーカードを使用する場合は、メモリーカードの取扱説明書をあわせてお読みください。

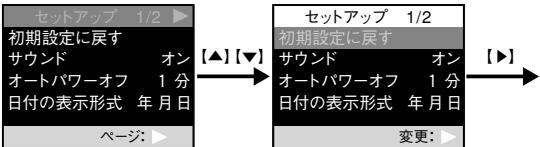
■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしたあとに、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

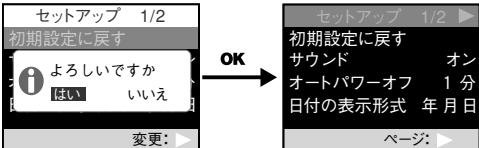
- モードダイヤルを  にします。



- [セットアップ1/2] メニューから [▲] [▼] で、[初期設定に戻す] を選び、[▶] を押します。



- [◀] [▶] で [はい] / [いいえ] を選び、OK を押します。



各項目の初期設定

設定項目	初期設定
画像サイズ	3M (2048×1536)
画質	★★ (ノーマル)
プレビュー	オン
液晶明るさ	0
サウンド	オン
デジタルズーム	オン
オートパワーオフ	1分間
露出補正	AUTO

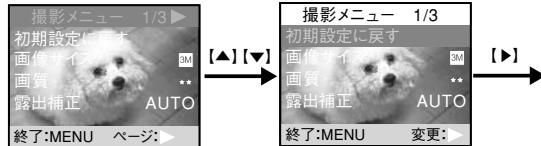
上記以外の項目は初期設定に戻す操作を行っても設定内容が優先され初期設定には戻りません。

らくらく初期設定

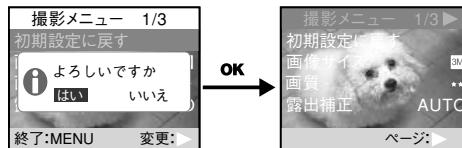
モードダイヤルを  にしなくても、 /  の各モードから、以下の操作で簡単に初期設定に戻すことができます。

- モードダイヤルが  /  の状態で、 を押します。

- [撮影メニュー] から [▲] [▼] で、[初期設定に戻す] を選び、[▶] を押します。



- [◀] [▶] で [はい] / [いいえ] を選び、OK を押します。
[撮影メニュー] に戻ります。



-  を押すと、[撮影メニュー] を終了します。

静止画/動画を撮る

■ 静止画を撮る

静止画撮影モードには、**■**オート撮影モードと**M**マニュアル撮影モードがあります。各々のモードでは、設定可能な項目が異なります。

■ オート撮影モードと M マニュアル撮影モードでの設定可能な項目を参考にしてください。

■ オート撮影モード：露出・ホワイトバランス等の設定をカメラにまかせて撮影するモードです。

M マニュアル撮影モード：露出やホワイトバランス、シャープネスを設定して撮影するモードです。

■ オート撮影モードと M マニュアル撮影モードでの設定可能な項目

項目	オート撮影モード	マニュアル撮影モード
初期設定に戻す	○	○
画像サイズ	○	○
画質	○	○
露出補正	—	○
ホワイトバランス	—	○
デジタルズーム	○	○
プレビュー	○	○
液晶明るさ	○	○
シャープネス	—	○

また、撮影方法には、液晶モニターを見ながら撮る方法とファインダーを見ながら撮る方法があります。

電池残量が少ない場合や、通常のフィルムカメラ感覚で撮影したい場合は、ファインダーを見ながらの撮影をおすすめします。**液晶モニターとファインダーを使い分ける**を参考に目的に応じた撮影方法でご使用ください。

液晶モニターとファインダーを使い分ける

	液晶モニターを見ながら撮る	ファインダーを見ながら撮る (液晶モニターOFF)
こんな場合に	<ul style="list-style-type: none"> 実際に撮影される範囲を確認しながら撮影したい場合 花や人物のアップの撮影など、マクロモードで撮影する場合 	<ul style="list-style-type: none"> 電池残量が少ない場合 通常のフィルムカメラ感覚で撮影したい場合
長所	<ul style="list-style-type: none"> 撮影する範囲を正しく確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> カメラがブレにくい。 周囲が明るくても被写体がよく見える。 電池消耗が少ない。
短所	<ul style="list-style-type: none"> 手ブレが起こりやすい。 周囲が明るいときや暗いときに見にくい場合がある。 電池消耗がファインダーと比べて早い。 	<ul style="list-style-type: none"> 近くのものを撮影する場合に、ファインダー内の画像と実際に撮影される画像にズレが生じる。 デジタルズームが使用できない。

シャッターボタンの押し方

シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。

半押しと全押しの操作(感覚)については、実際に撮影される前に必ずお試しください。

① **半押し (浅く押したとき)** → ピントなどを自動設定します。

M マニュアル撮影モードで、露出・ホワイトバランスを設定している場合は、設定している内容が優先されます。



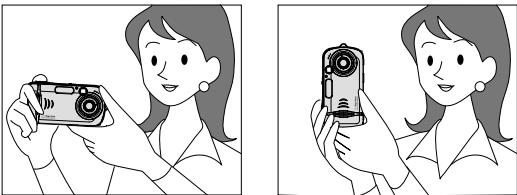
② **全押し (深く押したとき)** → シャッターが切れます。

- 半押しで構図を確かめ、全押し時は指の腹でやさしく押してください。全押し時に力が入ると、カメラが下がり、画像がブレる原因になります。
- シャッターボタンを全押しし、すぐにカメラを動かすと画像がブレる原因になります。**[REC]** (画像記録中) アイコンが表示されるまでカメラを固定してください。



液晶モニターを見ながら撮る場合 静止画撮影の流れ P31

- 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。
- モードダイヤルを / にします。
- 脇を締めて両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように構図を決めます。



両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

- シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます（フォーカスロック）。
 - (AFターゲットマーク) が点滅し、“ピピッ”という音と (AFターゲットマーク) の固定、● (フォーカスロックマーク) の表示で、ピントなどが自動設定されたことをおしらせします。



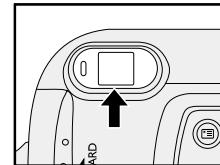
- 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。
 - “ピーッ”という音とファインダーランプ（グリーン）の点滅、 (画像記録中) アイコンの表示で、撮影されたことをおしらせします。
 - プレビュー設定を【オン】にしている場合（初期設定は【オン】 P58）は、撮影された画像を表示します。
 - ファインダーランプ（グリーン）の点滅が点灯になると、次の撮影が可能になります。

- (画像記録中) アイコンの表示中は“画像記録中”的ため、次の撮影はできません。
- (画像記録中) アイコンが表示したあとに、ファインダーランプがオレンジで点滅している場合は、ストロボの充電中です。ストロボを使う P34

ファインダーを見ながら撮る場合（液晶モニターオフ） 静止画撮影の流れ P31

50cm以内の距離で撮影する場合は、ファインダー内の画像と実際に撮影される画像にズレが生じますので、マクロモードに設定し P36、液晶モニターを見ながらの撮影をおすすめします。

- 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。
- モードダイヤルを / にします。
- を2回押して、液晶モニターを“表示オフ”にします。
液晶モニターの表示切替について P17
- 脇を締めて両手でカメラを構え、被写体がファインダーに収まるように構図を決めます。

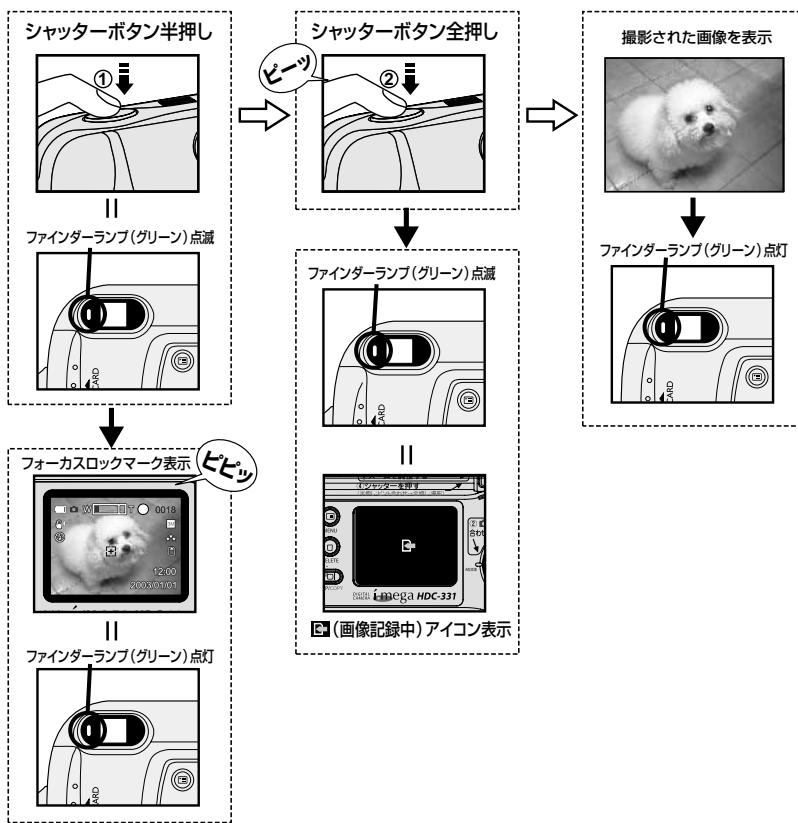


- 被写体をファインダー内に表示されている にあわせます。

両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

- シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます（フォーカスロック）。
 - ファインダーランプ（グリーン）が点滅し、“ピピッ”という音とファインダーランプ（グリーン）の点灯で、ピントなどが自動設定されたことをおしらせします。
- 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。
 - “ピーッ”という音とファインダーランプ（グリーン）の点滅、 (画像記録中) アイコンの表示で、撮影されたことをおしらせします。
 - プレビュー設定を【オン】にしている場合（初期設定は【オン】 P58）は、撮影された画像を表示します。
 - ファインダーランプ（グリーン）の点滅が点灯になると、次の撮影が可能になります。
- ファインダーランプ（グリーン）の点滅中は“画像記録中”的ため、次の撮影はできません。
- ファインダーランプがグリーンに点灯したあとに、オレンジで点滅している場合は、ストロボの充電中です。ストロボを使う P34

静止画撮影の流れ（プレビューオン時）



オートフォーカスが苦手な被写体について（フォーカスロック撮影）

本機のオートフォーカス機能は、CCD上のコントラストの状態を検知して距離を測るコントラスト方式AFを採用しています。

以下のような被写体はピントが合いにくい場合があります。その場合は、被写体と同距離にあるコントラストとのはっきりしたものでフォーカスロック（半押し）をしたあと、構図を決めて撮影してください。

- コントラストがはっきりしない（極端に暗い場合など）
- 画面中央に極端に明るいものがある
- 遠いものと近いものが混在する（ガラス越しなど）
- 動きのはやいもの
- ピントを合わせたいものが中央にない

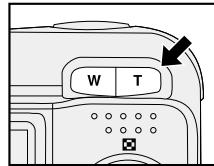
■ ズームを使う

被写体をズーム倍率3倍で拡大して撮影できます。デジタルズームと組み合わせて使用すると最大約6倍の撮影ができます。

- 35mmフィルム換算：約35mm～約105mm
 - デジタルズームは画像サイズ2048×1536（約315万画素）モード時のみ有効で、撮影された画像の画像サイズは1024×768（約79万画素）となります。
- デジタルズームを使う場合 P33

高倍率での撮影は手ブレが起こりやすくなります。手ブレ防止のために三脚を使うなどして、カメラを固定してください。

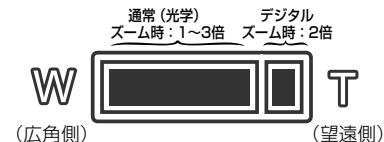
- モードダイヤルを / にして、液晶モニターまたはファインダーで被写体を確認しながら、**T** / **W** を押してズームを調整します。



- T**：被写体を拡大します（望遠）。
- W**：被写体を小さくします（広角）。

ここで設定したズームは、電源をオフにすると最も広角側（ワイド端）に戻ります。

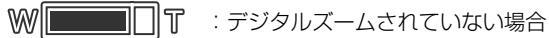
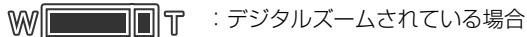
ズームバーの表示



デジタルズームを使う場合

液晶モニターを見ながらの撮影時（画像サイズ2048×1536（約315万画素）モード時のみ有効）に、最も望遠側（テレ端）まで拡大し、再度 **T** ボタンを押すと、さらに拡大して撮影できます。

- デジタルズームされているかどうかについては、液晶モニター内のズームバーにて確認できます。

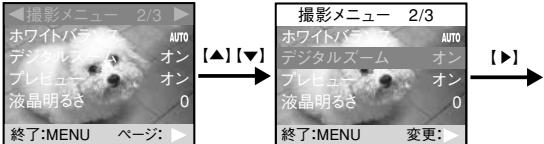


- デジタルズームしているまま、**[■]** を押したり、液晶モニターを表示オフに設定すると、デジタルズームは解除されます。
- デジタルズームで撮影された画像の画像サイズは1024×768（約79万画素）となります。

デジタルズームの初期設定は【オン】が設定されています。設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

- モードダイヤルを **■** / **M■** にします。

- [■]** を押して、【撮影メニュー】から **▲** / **▼** で、【デジタルズーム】を選び、**[▶]** を押します。



- 【▲】 / 【▼】** で 【オン】 / 【オフ】 を選び、**OK** を押します。

【撮影メニュー】に戻り、設定した内容を表示します。



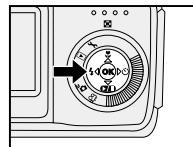
- [■]** を押すと撮影メニューを終了します。

■ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

ストロボの発光は、プリ発光、続いてメイン発光と2回行われます。プリ発光で得られた被写体の露出情報をもとに、メイン発光に必要な発光量が決定され、最適な発光量でストロボ撮影を行います。

- モードダイヤルを **■** / **M■** にして、**⚡** ストロボボタン (**[◀]**) を繰り返し押して、ストロボモードを選びます。



- ストロボモードを選ぶと、ファインダーランプ（オレンジ）が点滅し、ストロボの充電をおしらせします。

- 発光禁止モード：ストロボは発光しません。

初期設定

液晶モニターに **■** が表示されている場合は、ストロボ発光モードでの撮影をおすすめします。

暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ブレが起こりやすくなりますので、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

- オートモード：撮影環境に応じて自動的にストロボを発光します。

- 赤目軽減モード：暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影のためのストロボの前に1度ストロボが発光します。

- 夜景モード：遅いシャッタースピードでストロボを発光させます。夜景などで背景だけが暗くなるのを軽減できます。三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

- 強制発光モード：常にストロボを発光させます。

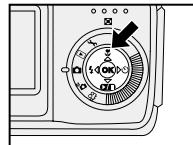
- ストロボによる運動範囲(推奨)は、広角側（W ワイド端）：約0.5m～約3.0m、望遠側（T テレ端）：約0.5m～約2.5mです。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
- ストロボ発光モードを選んだあとに、マクロモードに設定すると、発行禁止モードになります。
- ここで選んだストロボモードは、電源をオフにしたり、初期設定に戻す P25 操作を行うと発光禁止モードに戻ります。
- ストロボの充電には約10秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- ストロボの充電中にシャッターボタンを押しても、“ピピピッ”という音がなって撮影できません。
- 電池残量が少ない場合は、暗いところでの撮影でもストロボを発光しない場合があります。その場合は電池を交換することをおすすめします。
- 赤目軽減モードは強制発光モードではありません。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や 条件によって、効果が表れにくい場合があります。

■ 近距離撮影をする（マクロ撮影）

マクロモードに設定して撮影すると、約20cm～約50cmの近距離撮影が可能になります。

- モードダイヤルを  /  にして、 マクロボタン（[▲]）を押してマクロモードに設定します。

液晶モニターに  が表示され、マクロモードが設定されたことをおしらせします。



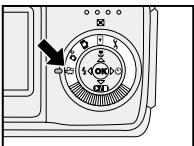
マクロモード  : 撮影可能範囲 約20cm～約50cm
標準モード  初期設定 : 撮影可能範囲 約50cm～∞

- マクロモードに設定すると、各ストロボ発光モードを選んでいても、発行禁止モードになります。（ストロボ運動範囲(推奨)：約0.5m～約3.0m(W)／約2.5m(T)）
- マクロモード時には、液晶モニターの表示オフを選ぶことはできません。また、ファインダーを見ながらの撮影（液晶モニターオフ）時にはマクロモードを設定することはできません。液晶モニターを見ながら撮影してください。
- ここで選んだマクロモードは、電源をオフにしたり、初期設定に戻す P25 操作を行うと標準モードに戻ります。

■ 動画を撮る

本機は動画を撮影できます。撮影した動画は、カメラで再生したり、付属のビデオケーブルを使用してテレビで見ることができます。

- 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。
- モードダイヤルを  にします。

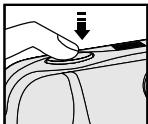


- **T / W** でズームを調整します。

ズームの調整は撮影開始後にはできません。

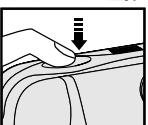
- シャッター ボタンを半押ししてピントをあわせます（フォーカスロック）。
- “ピッ”という音で、ピントなどが自動設定されたことをおしらせします。

シャッター ボタン半押し



- 半押しのまま、シャッター ボタンをさらに押し込みます（全押し）。

シャッター ボタン全押し



- “ピッ”という音と  アイコンの点滅で、撮影が開始されたことをおしらせします。
- 撮影中は液晶モニターに撮影秒数が表示されます。

- 撮影をストップするときは、シャッター ボタンを全押しします。

“ピッ”という音がなって撮影をストップします。

- 撮影に必要なメモリ残量がなくなると、撮影は自動的にストップします。
- ストロボ、セルフタイマー、マクロ撮影はできません。ホワイトバランス P55 ▶、露出 P56 の設定は動画撮影時も有効です。

動画ファイルについて

画像サイズ（記録画素数）	320×240
記録画像ファイルフォーマット	AVI (Motion JPEG、音声なし)
フレームレート	30フレーム/秒
データサイズ	約231KB/秒
記録時間	内蔵16MBフラッシュメモリ時：約90秒 SDメモリカード32MB時：約168秒

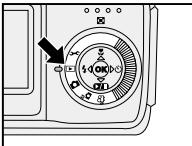
データサイズ、撮影時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

- 動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player（※）などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。
- （※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。その場合は、コーデック（Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張（再生）を行うための専用プログラム）が含まれる DirectX 8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生、ズーム再生（2倍/4倍）、インデックス再生（9分割）があります。

- 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。
- モードダイヤルを **□** にします。



最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

- **【◀】** **【▶】** で画像を選びます。
・動画の場合は最初の1フレームが表示されます。



ズーム再生をする場合は

シングル再生で表示された画像を、2倍、4倍の倍率でズーム再生することができます。

動画はズーム再生できません。

- **【◀】** **【▶】** で画像を選び、液晶モニターにズーム再生したい画像を表示させます。

- **T** を押すと中央部分を拡大して再生します。

1倍 → **T** → 2倍 → **T** → 4倍



- **【▲】** **【▼】** **【◀】** **【▶】** で、表示位置を変更します。

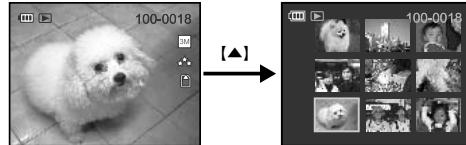
- **W** を押すと拡大表示を解除します。

4倍 → **W** → 2倍 → **W** → 1倍

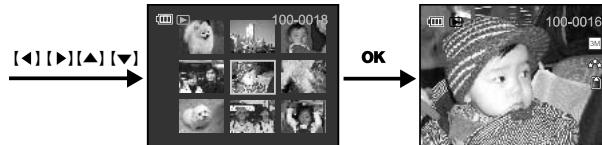
インデックス再生をする場合は

液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。たくさんの画像を撮影した場合など、画像を選ぶのに便利です。

- シングル再生時に **■** インデックス再生ボタン（**▲**）を押します。
インデックス再生画面になります。

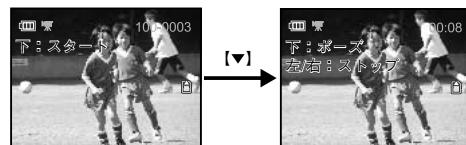


- **【▲】** **【▼】** **【◀】** **【▶】** で画像を選び、**OK** を押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。

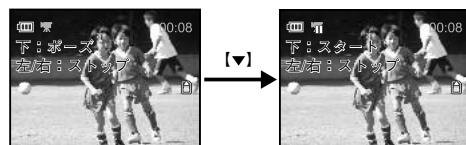


動画を再生する場合は

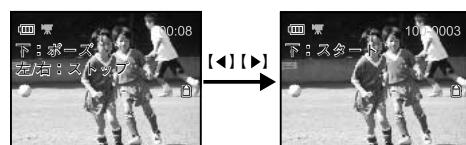
- **【◀】** **【▶】** で再生したい動画像を選びます。
- **■** スタート／ポーズボタン（**▼**）押すと再生をスタートし、液晶モニターに再生秒数を表示します。



・再生時に **■**（**▼**）を押すと一時停止します。（再度 **■**（**▼**）を押すとスタートします。）



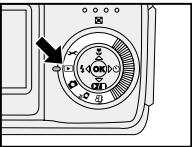
・再生時に **【◀】** **【▶】** を押すと、再生をストップし、最初の1フレーム表示に戻ります。



画像を消去する

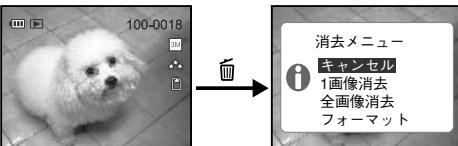
一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてから行ってください。
特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を1度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

- 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。
- モードダイヤルを **□** にします。



最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

- **【◀】【▶】** で消去したい画像を表示させます。
 - ・インデックス再生時は **【▲】【▼】【◀】【▶】** で消去したい画像を選びます。
- **■** を押して **【消去メニュー】** を表示させます。

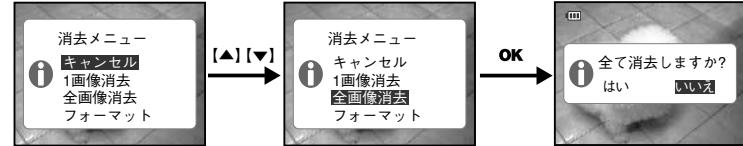


- **【消去メニュー】** から **【▲】【▼】** で **【1画像消去】** を選び、**OK** を押します。
消去確認の画面が表示されます。
 - ・この時点ではまだ消去されていません。
- **【◀】【▶】** で **【はい】** / **【いいえ】** を選び、**OK** を押します。
 - ・**【いいえ】** を選ぶと消去を中止して、再生モードに戻ります。続けて消去を行う場合は、再度 **■** を押して **【消去メニュー】** から操作してください。

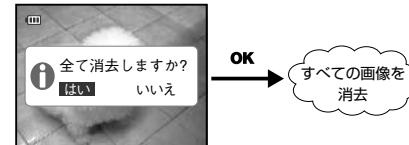


すべての画像を消去する場合

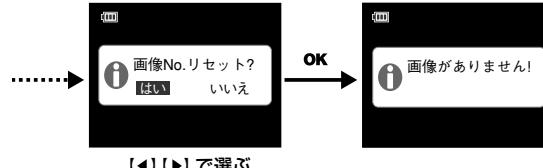
- モードダイヤルを **□** にします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。
- **■** を押して **【消去メニュー】** を表示させ、**【▲】【▼】** で **【全画像消去】** を選び、**OK** を押します。
消去確認の画面が表示されます。
 - ・この時点ではまだ消去されていません。



- **【◀】【▶】** で **【はい】** / **【いいえ】** を選び、**OK** を押します。
すべての画像が消去され、**【画像ナンバーリセット】** の確認画面が表示されます。
- **【◀】【▶】** で **【はい】** / **【いいえ】** を選び、**OK** を押します。



【◀】【▶】で選ぶ



【◀】【▶】で選ぶ

画像ナンバーリセットについて

すべての画像を消去した場合や、フォーマットした場合 **P64** に、画像ナンバーをリセットすることができます。

画像ナンバーリセットの動作は、全画像消去時と、フォーマット時では異なります。

【全画像消去】 時……ファイルナンバーのみリセット

【フォーマット】 時……フォルダナンバーおよびファイルナンバーをリセット

テレビを使って再生／撮影する

同梱のビデオケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

ビデオケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。

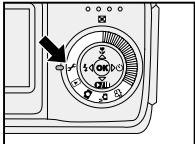
テレビと接続する前に

テレビと接続する前に、テレビの方式を設定します。

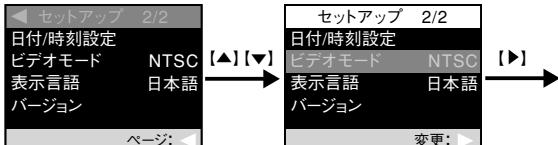
NTSC方式の主な国：日本、アメリカ、韓国、カナダなど **初期設定**

PAL方式の主な国：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

- モードダイヤルを  にします。

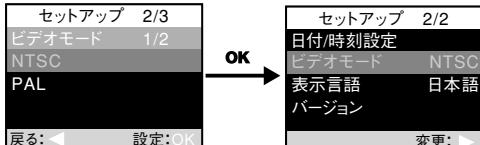


- [セットアップ] メニューから **【▲】** **【▼】** で [ビデオモード] を選び、**【▶】** を押します。



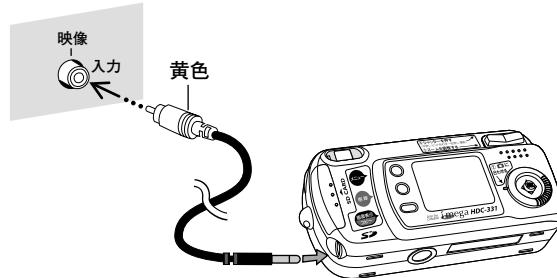
- 【▲】** **【▼】** でテレビの方式を選び、**OK** を押します。

[セットアップ] メニューに戻り、設定した内容を表示します。



ここで選んだテレビの方式は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと [NTSC] に戻ります。

- ビデオケーブルのミニプラグ（細い方）をカメラのビデオ出力端に差し込み、ピンプラグ（太い方）をテレビのビデオ映像端子に接続します。
(テレビのビデオ映像端子)



- テレビの電源をオンにして、テレビの入力切り替えをビデオ入力モードに切り替えます。

- カメラの電源をオンにして、再生する場合は、モードダイヤルを  に、撮影する場合は  /  /  にします。
テレビに画像が表示されます。

- 接続した際は、ビデオケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターには表示されません。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

準備について 47

- 表示言語を設定する 47
- 日付の表示形式を設定する 48
- サウンドのオン／オフを設定する 49
- オートパワーオフの時間を設定する 50
- 液晶モニターの明るさを設定する 51
- ACアダプター(別売)を使う 52

撮影(静止画／動画)について 53

- 画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する 53
- ホワイトバランスを設定する 55
- 露出(明るさ)を設定する 56
- シャープネスを設定する 57
- プレビューのオン／オフを設定する 58
- セルフタイマーで撮る 59

再生(静止画／動画)について 60

- 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする 60
- スライドショー再生をする 62
- 画像プロテクトを設定する 63

消去について 64

- フォーマットする 64

準備について

■ 表示言語を設定する

液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語 **初期設定**

英語 (ENGLISH)

中国語1 (简体中文)

中国語2 (繁體中文)

イタリア語 (ITALIANO)

フランス語 (FRANCAIS)

ドイツ語 (DEUTSCH)

スペイン語 (ESPAÑOL)

- 表示言語の初期設定は【日本語】が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

- モードダイヤルを  にします。

- [セットアップ1/2] メニューから **【◀】** **【▶】** で [セットアップ2/2] メニューを表示し、**【▲】** **【▼】** で [表示言語] を選び、**【▶】** を押します。



- **【▲】** **【▼】** で表示言語を選び、**OK** を押します。

[セットアップ2/2] メニューに戻り、設定した内容を表示します。



- ここで選んだ表示言語は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す **P25** 操作を行うと【日本語】に戻ります。

■ 日付の表示形式を設定する

 /  /  モード時に液晶モニターに表示される日付／時刻の表示形式を変更することができます。

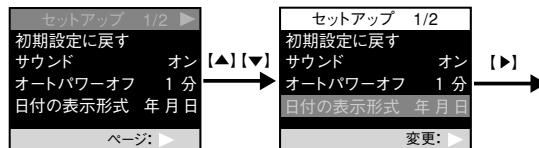
年 月 日：年／月／日の順序で表示されます。

日 月 年：日／月／年の順序で表示されます。

月 日 年：月／日／年の順序で表示されます。

- モードダイヤルを  にします。

- [セットアップ1/2] メニューから **【▲】** **【▼】** で [日付の表示形式] を選び、**【▶】** を押します。



- **【▲】** **【▼】** で日付の表示形式を選び、**OK** を押します。

[セットアップ1/2] メニューに戻り、設定した内容を表示します。

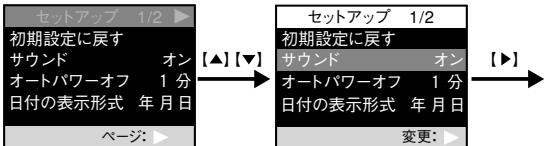


ここで選んだ日付の表示形式は、初期設定に戻す **P25** 操作や、電源をオフにした後も保持されます。

■ サウンドのオン／オフを設定する

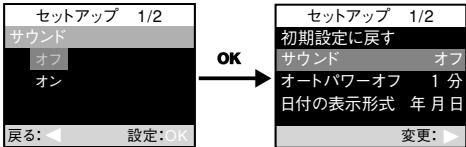
操作音の【オン】／【初期設定】／【オフ】を設定できます。

- モードダイヤルを  にします。
- [セットアップ1/2] メニューから【▲】／【▼】で【サウンド】を選び、【▶】を押します。



- 【▲】／【▼】で【オン】／【オフ】を選び、【OK】を押します。

【セットアップ1/2】メニューに戻り、設定した内容を表示します。



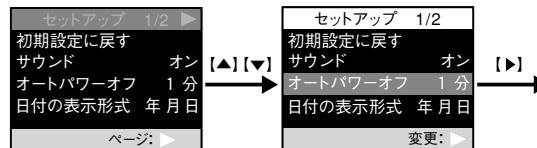
ここで選んだサウンドの【オン】／【オフ】は、電源をオフにした後も保持されます
が、初期設定に戻す P25 操作を行うと【オン】に戻ります。

■ オートパワーオフの時間を設定する

オートパワーオフの時間（1分／3分／5分）を設定できます。

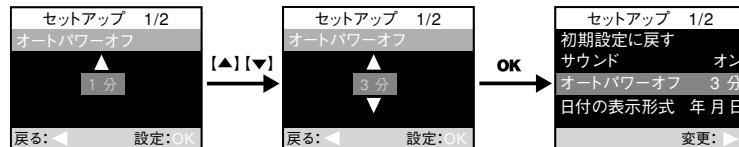
オートパワーオフの初期設定は、電池使用時：1分、ACアダプター使用時：5分に設定されています。

- モードダイヤルを  にします。
- [セットアップ1/2] メニューから【▲】／【▼】で【オートパワーオフ】を選び、【▶】を押します。



- 【▲】／【▼】で【1分】／【3分】／【5分】を選び、【OK】を押します。

【セットアップ1/2】メニューに戻り、設定した内容を表示します。



- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにしたり、初期設定に戻す P25 操作を行うと電池使用時【1分】、ACアダプター使用時【5分】に戻ります。
- パソコンとUSB接続している場合は、オートパワーオフ機能はたらきません。

■ 液晶モニターの明るさを設定する

液晶モニターの明るさを±5の範囲で変更できます。使用環境に応じて設定してください。

液晶モニターの明るさの設定は、 /  /  モードで設定します。

- モードダイヤルを  /  /  にします。

-  を押します。

- 各メニューから  /  、 /  で、[液晶の明るさ] を選び、

-  を押します。

( モードの場合)



-  /  /  /  /  /  /  /  /  /  を選び、 を押します。

各メニューに戻り、設定した内容を表示します。



-  を押すと各メニューを終了します。

ここで選んだ液晶モニターの明るさは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P25 操作を行うと [0] に戻ります。

■ ACアダプター（別売）を使う

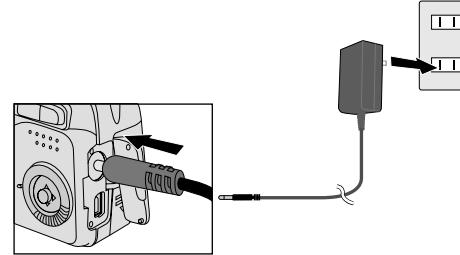
本機はACアダプターを使用することができます。ACアダプターは別売です。

テレビで再生する場合や、パソコン接続時等など、長時間カメラの電源をオンにする場合は、ACアダプターを使用すると電池の消耗を軽減できます。

- カメラの電源がオフになっているかを確認します。オフになっていない場合は、電源スイッチをスライドさせて電源をオフにします。

ACアダプターを使用する場合は、カメラの電源をオフにしてから接続してください。

- ACアダプターのミニプラグをカメラのDC入力端子に差し込みます。



- 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。

・以降の操作は電池使用時の操作と同様です。

- ACアダプターは別売です。
(型式：JSA30250UU3-3、本体希望小売価格：3,000円（税別）)
- ACアダプターを使用して、単3形ニッケル水素電池などを充電することはできません。
- ACアダプター接続時は、乾電池からは電源が供給されません。
- ACアダプターを接続すると、オートパワーオフの初期設定は[5分]になります。
- 接続した際はACアダプターのケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。

撮影(静止画/動画)について

■ 画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定する

目的に応じて、画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)を設定できます。

画像サイズと画質の設定は、 /  モードで設定します。

画像サイズ(記録画素数)

 2048×1536 (約315万画素) **初期設定**

 1600×1200 (192万画素)

 1280×960 (約123万画素)

 1024×768 (約79万画素)

 640×480 (約31万画素)

画質(圧縮率)

★★ フайн(低圧縮(1/4)モード)

★★ ノーマル(標準圧縮(1/8)モード) **初期設定**

★ ベーシック(高圧縮(1/12)モード)

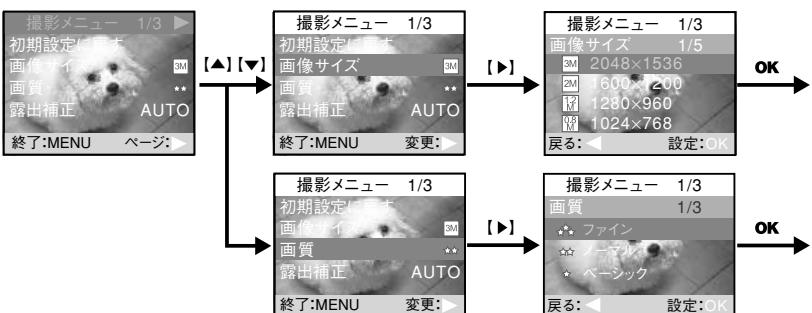
● モードダイヤルを  /  にします。

●  を押し [撮影メニュー] を表示させます。

● [撮影メニュー] から **【▲】** **【▼】** で [画像サイズ] / [画質] を選び **【▶】** を押します。

● **【▲】** **【▼】** で [画像サイズ] / [画質] を選び、**OK** を押します。

[撮影メニュー] に戻り、設定した内容を表示します。



●  を押すと、[撮影メニュー] を終了します。

ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P25 操作を行うと [画像サイズ] は  2048×1536に、[画質] は ★★ ノーマルに戻ります。

画像サイズ(記録画素数)と画質(圧縮率)について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、データ容量は大きくなり、メモリなどに記録できる画像枚数が少くなります。

2048×1536 / 1600×1200はプリントユースで使用する場合、1280×960 / 1024×768 / 640×480はメール添付などインターネット上で使用する場合を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

動画撮影時は320×240の画像サイズ(記録画素数)になります。

[画像記録枚数・時間/データサイズ]

画像サイズ(記録画素数)	JPEG圧縮率	1コマのデータサイズ	内蔵16MBフラッシュメモリ	SDメモリーカード32MB(別表)
2048×1536 (約315万画素)	ファイン	約1,500KB	約11枚	約20枚
	ノーマル	約780KB	約21枚	約39枚
	ベーシック	約520KB	約31枚	約59枚
1600×1200 (192万画素)	ファイン	約960KB	約17枚	約32枚
	ノーマル	約480KB	約34枚	約64枚
	ベーシック	約320KB	約51枚	約97枚
1280×960 (約123万画素)	ファイン	約615KB	約27枚	約50枚
	ノーマル	約307KB	約54枚	約101枚
	ベーシック	約205KB	約81枚	約151枚
1024×768 (約79万画素)	ファイン	約390KB	約42枚	約79枚
	ノーマル	約196KB	約84枚	約158枚
	ベーシック	約131KB	約126枚	約237枚
640×480 (約31万画素)	ファイン	約154KB	約108枚	約202枚
	ノーマル	約77KB	約216枚	約404枚
	ベーシック	約51KB	約324枚	約606枚
320×240 [動画]	—	約231KB/秒	約90秒	約168秒

画像記録枚数及びデータサイズはあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

■ ホワイトバランスを設定する

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定できます。

ホワイトバランスの設定は、**M** モードで設定します。

AUTO オート： カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。 **初期設定**

 太陽光： 太陽光での撮影

 曇： 曇天での撮影

 白熱灯： 白熱灯下での撮影

 蛍光灯： 蛍光灯下での撮影

● モードダイヤルを **M** にします。

ホワイトバランスの設定は **■** オート撮影モードではできません。

■ オート撮影モードと **M** マニュアル撮影モードでの設定可能な項目 P27

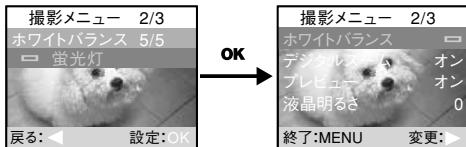
● **■** を押して、[撮影メニュー1/3] を表示させます。

● **[◀] [▶]** を押して、[撮影メニュー2/3] を選び、**[▲] [▼]** で [ホワイトバランス] を選び、**[▶]** を押します。



● **[▲] [▼]** で [AUTO オート] / [※ 太陽光] / [曇] / [※ 白熱灯] / [蛍光灯] を選び、**OK** を押します。

[撮影メニュー2/3] に戻り、設定した内容を表示します。



● **■** を押すと、[撮影メニュー] を終了します。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにしたり、初期設定に戻す P25 操作を行うと **AUTO** オートに戻ります。

■ 露出(明るさ)を設定する

逆光や背景が明るい場所での撮影など被写体が暗くなってしまった場合に露出を補正（オート、-2.0EV～+2.0EV(0.5EVステップ)）できます。

露出の設定は、**M** モードで設定します。

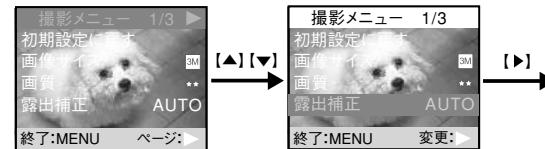
● モードダイヤルを **M** にします。

露出の補正是 **■** オート撮影モードではできません。

■ オート撮影モードと **M** マニュアル撮影モードでの設定可能な項目 P27

● **■** を押して [撮影メニュー1/3] を表示させます。

● [撮影メニュー1/3] から **[▲] [▼]** で [露出補正] を選び、**[▶]** を押します。



● **[▲] [▼]** で露出の段階を選び、**OK** を押します。

[撮影メニュー1/3] に戻り、設定した内容を表示します。



● **■** を押すと、[撮影メニュー] を終了します。

ここで選んだ露出は、電源をオフにしたり、初期設定に戻す P25 操作を行うと **AUTO** に戻ります。

■ シャープネスを設定する

撮影画像のシャープネス（鮮明さ）を設定できます。

シャープネスの設定は、**M** モードで設定します。

- モードダイヤルを **M** にします。

シャープネスの設定は **REC** オート撮影モードではできません。

REC オート撮影モードと **M** マニュアル撮影モードでの設定可能な項目 P27

- **REC** を押して [撮影メニュー1/3] を表示させます。

- **[◀] [▶]** を押して、[撮影メニュー3/3] を選び、**[▲] [▼]** で [シャープネス] を選び、**[▶]** を押します。



- **[▲] [▼]** で [ハード]／[ノーマル]／[ソフト] を選び、**OK** を押します。

[撮影メニュー3/3] に戻り、設定した内容を表示します。



- **REC** を押すと、[撮影メニュー] を終了します。

ここで選んだシャープネスは、電源をオフにしたり、初期設定に戻す P25 操作を行うと [ノーマル] に戻ります。

■ プレビューのオン／オフを設定する

静止画撮影時のプレビュー（撮影画像の表示）のオン／初期設定／オフを設定できます。

プレビューの設定は、**REC**／**M** モードで設定します。

- モードダイヤルを **REC**／**M** にします。

- **REC** を押して、[撮影メニュー] を表示させます。

- **[◀] [▶]、[▲] [▼]** で、[プレビュー] を選び、**[▶]** を押します。



- **[▲] [▼]** で、[オン]／[オフ] を選び、**OK** を押します。

[撮影メニュー] に戻り、設定した内容を表示します。



- **REC** を押すと、[撮影メニュー] を終了します。

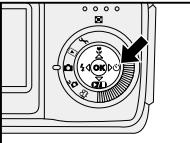
ここで選んだプレビューのオン／オフは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P25 操作を行うと [オン] に戻ります。

■セルフタイマーで撮る

本機はセルフタイマー機能を使用して撮影することができます（タイマー時間10秒/2秒切り替え）。

セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

- モードダイヤルを  /  にして、 セルフタイマーボタン () を繰り返し押して、セルフタイマーのタイマー時間を選びます。



 : タイマー時間10秒

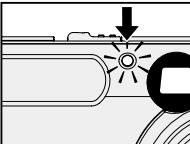
 : タイマー時間2秒

選んだタイマー時間のアイコンが液晶モニターに表示されます。

- 構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます（**フォーカスロック**）。

- 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（**全押し**）。

シャッターボタンの押し方 P28



セルフタイマーランプ（レッド）と液晶モニター内のアイコンが点滅し、“ピッピッピッピッ”という音でセルフタイマー撮影を開始し、選んだタイマー時間後に“ピーッ”という音で撮影されたことをおしらせします。

- セルフタイマー撮影を途中で止める場合は、 を押すか、モードダイヤルを他のモードに切り替えるか、電源をオフにしてください。
- 撮影時の各設定（画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出など）はセルフタイマー時も有効です。
- 一度セルフタイマー撮影を行うと、セルフタイマー機能は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、再度設定し直してください。

再生(静止画/動画)について

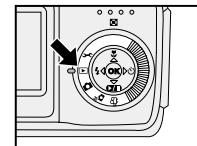
■内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする（**コピー to SDカード機能**）

内蔵メモリ（16MB）に入っている画像をメモリーカードへコピーすることができます。メモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリを使用して撮影した場合などで、後で画像をメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

- 本機能は内蔵メモリ内に画像がある場合のみ有効です。画像がない場合は、「画像がありません！」と表示されコピーできません。
- メモリーカード内の空き容量が足りない場合は、コピー可能な画像のみをコピーして、「SDカードが一杯です！」と表示され、コピーを途中で終了します。
- 本操作を何回も続けて行うと、メモリーカード内には、新しいフォルダが作成され、同じ画像が何枚もコピーされます。

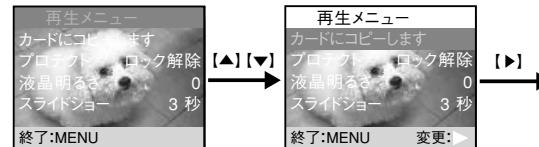
- 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。

- モードダイヤルを  にします。

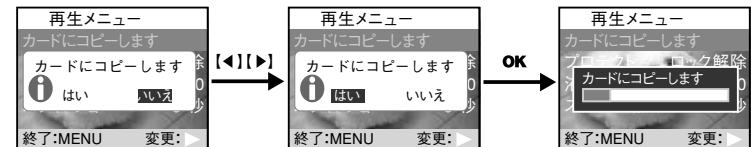


最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

-  を押して、**【再生メニュー】**を表示させます。
- 【再生メニュー】**から **【▲】** **【▼】** で **【カードにコピーします】** を選び、**【▶】** を押します。



- 【◀】** **【▶】** で **【はい】** / **【いいえ】** を選び、**OK** を押します。
- 内蔵メモリ内にあるすべての画像をメモリーカードにコピーし、**【再生メニュー】**を終了します。



⑩ COPY(コピー)ボタンで操作する場合

コピー to SDカード機能は、[再生メニュー] から [カードにコピーします] を選ばなくとも、⑩ COPY(コピー)ボタンで簡単に操作できます。ボタン部 P13

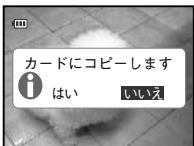
● モードダイヤルを [□] にします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

● ⑩ を2回押します。

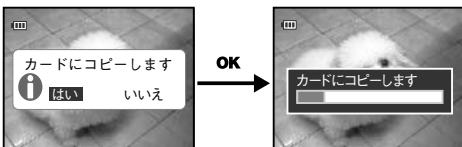
最後に撮影された画像が動画像の場合は、1回押します。

「カードにコピーします」画面が表示されます。



● [◀] [▶] で [はい] / [いいえ] を選び、OK を押します。

内蔵メモリ内にあるすべての画像をメモリーカードにコピーし、シングル再生画面に戻ります。



■ スライドショー再生をする

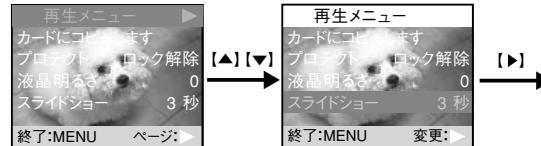
メモリ内にあるすべての画像を3/5/7/9秒間隔でスライドショー再生することができます。

● モードダイヤルを [▶] にします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

● ⑨ を押して、[再生メニュー] を表示させます。

● [再生メニュー] から [▲] [▼] で [スライドショー] を選び、[▶] を押します。



● [▲] [▼] で再生間隔 (3/5/7/9秒) を選び、OK を押します。

液晶モニターに 東 アイコンが表示され、メモリ内の1番最初の画像からスライドショー再生を開始します。



● 再生中に、⑨ を押すか、モードダイヤルを切り替えるとスライドショー再生をストップします。

● 動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

スライドショー再生を一時停止する場合

再生時に [▼] を押すと、ポーズ（一時停止）し、再度 [▼] を押すと、スライドショー再生を再開します。



● スライドショー再生は、節電のため、5分間を経過すると自動的にポーズ（一時停止）されます。[▼] を押すとスライドショー再生を再開します。

■ 画像プロジェクトを設定する

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロジェクトをかけることができます。

● モードダイヤルを **□** にします。

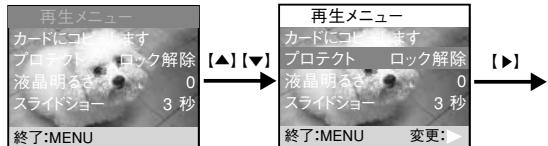
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

● **【◀】** **【▶】** でプロジェクトしたい画像を表示させます。

・メモリまたはメモリカード内にたくさんの画像がある場合は、インデックス再生画面にして、プロジェクトしたい画像を選ぶと便利です。

● **□** を押して、[再生メニュー] を表示させます。

● [再生メニュー] から **【▲】** **【▼】** で [プロジェクト] を選び、**【▶】** を押します。



● **【▲】** **【▼】** で [現在の画像] / [すべての画像] を選び、**【▶】** を押し、

● **【▲】** **【▼】** で [ロック] / [ロック解除] を選び、**OK** を押します。

[再生メニュー] に戻り、設定した内容を表示します。



● **□** を押すと、[再生メニュー] を終了します。

・プロジェクトがされている画像には、シングル再生、インデックス再生時に アイコンが表示されます。



〈シングル再生時〉



〈インデックス再生時〉

ここで設定した画像プロジェクトは、[1画像消去]、[全画像消去] P42 時は有効ですが、フォーマットする操作を行うと消去されます。

消去について

■ フォーマットする

フォーマット（初期化）とは内蔵メモリまたはメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

・フォーマット（初期化）すると内蔵メモリまたはメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。

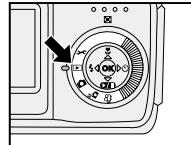
※プロジェクトされている画像も消去されます。

・他のデジタルカメラやパソコンで使用されたメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。

・フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、メモリーカードが正常に使用できない場合があります。

● 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。

● モードダイヤルを **□** にします。

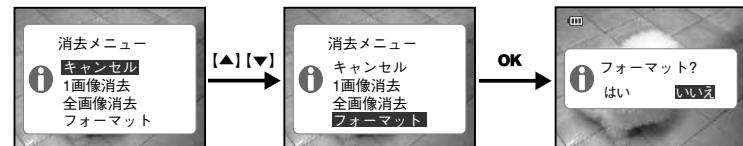


最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

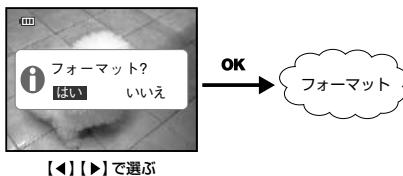
● **□** を押して、[消去メニュー] を表示させ、**【▲】** **【▼】** で [フォーマット] を選び、**OK** を押します。

フォーマット確認の画面が表示されます。

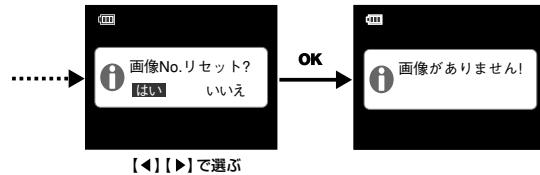
・この時点では、まだフォーマットされていません。



- 【◀】【▶】で【はい】／【いいえ】を選び、OKを押します。
フォーマットされ、画像ナンバーリセットの確認画面が表示されます。【◀】【▶】で【はい】／【いいえ】を選びOKを押します。



【◀】【▶】で選ぶ



【◀】【▶】で選ぶ

画像ナンバーリセットについて P42

パソコン接続編

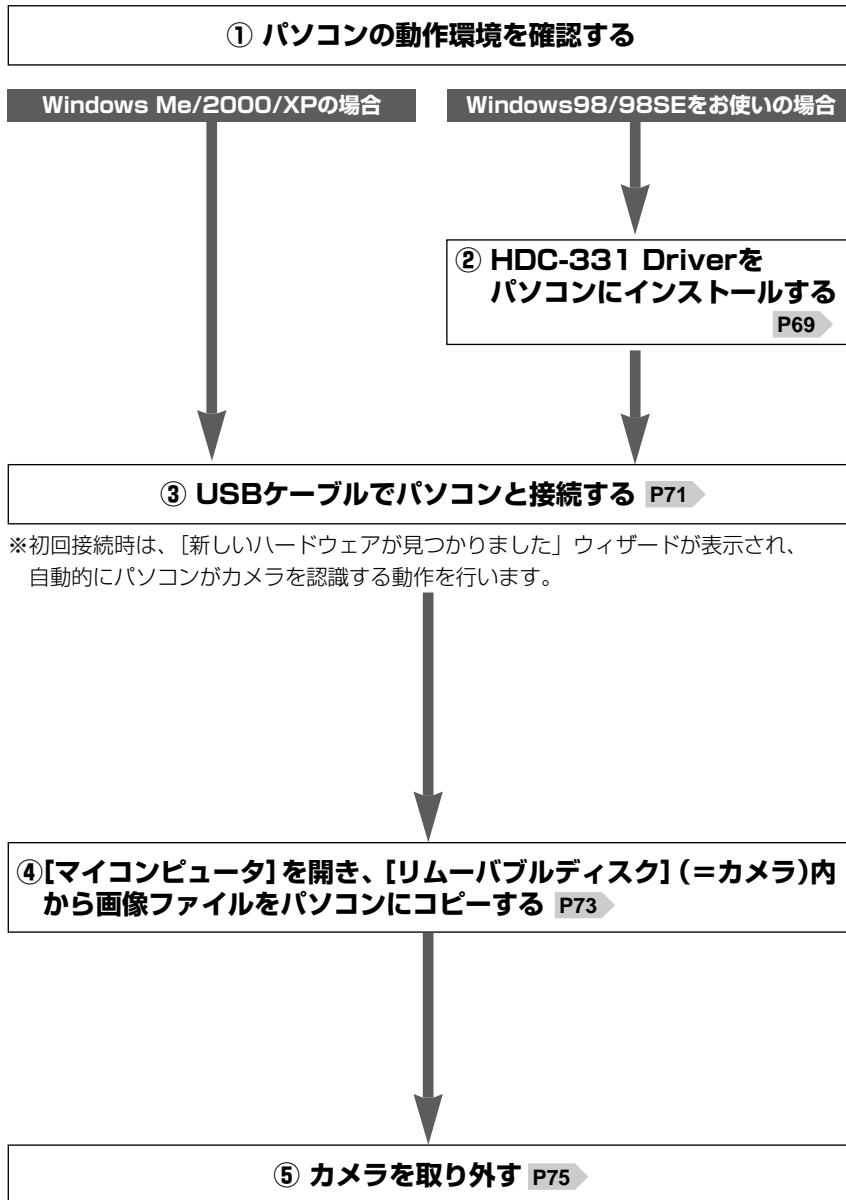
パソコンに接続して画像ファイルを取り込む方法について説明します。

画像ファイルをパソコンにコピーするまでの流れ —— 67

- ①パソコンの動作環境を確認する —— 68
- ②HDC-331 Driverをパソコンにインストールする —— 69
(Windows98/98SEをお使いの場合)
- ③USBケーブルでパソコンと接続する —— 71
- ④画像ファイルをパソコンにコピーする(リーダ／ライタ接続) —— 73
- ⑤カメラを取り外すときは —— 75

HDC-331 Driverをアンインストール(削除)する —— 76

■ 画像ファイルをパソコンにコピーするまでの流れ



① パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。

接続する前に必ずご確認ください。

■ OS : Microsoft Windows98/98SE/Me/2000/XP 日本語版

■ USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種

■ CD-ROM読み込みドライブを標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

Windows98/98SEをお使いの場合は

→② HDC-331 Driverをパソコンにインストールする P69 に進んでください。

Windows Me/2000/XPをお使いの場合は

→③ USBケーブルでパソコンと接続する P71 に進んでください。

② HDC-331 Driverをパソコンにインストールする

[Windows98/98SEをお使いの場合]

Windows98/98SEお使いの場合は、最初にHDC-331 Driverをインストールする必要があります。

手順に従ってHDC-331 Driverをパソコンにインストールしてください。

- 正しくインストールできた場合は、次回以降の接続時にはこの手順は必要ありません。
- Windows Me/2000/XPをお使いの場合は、インストールが自動的に行われますので、この手順は必要ありません。
- ③ USBケーブルでパソコンと接続する P71 に進んでください。

HDC-331 Driver (Windows98/98SE用) をインストールする～再起動

ソフトウェアのインストールが完了するまで、カメラをパソコンに接続しないでください。また、他のアプリケーションはすべて終了しておいてください。

● パソコンを起動し、付属CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

インストールメニューが自動的に表示されます。

- インストールメニューが表示されない場合は、[マイコンピュータ] 内の [HDC-331] 内の「Setup (.exe)」をダブルクリックしてください。

● [Install HDC-331 Driver] をクリックします。



● [ようこそ!] 画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

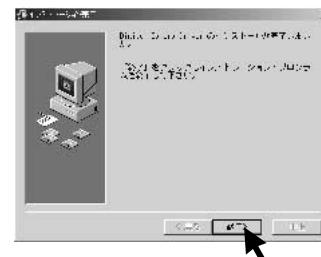


● [インストールの準備が完了しました!] 画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

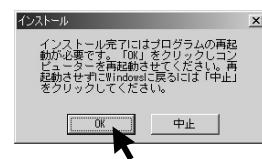


インストールが開始し、インストールが終わると [インストレーション完了] 画面が表示されます。

● [インストレーション完了] 画面が表示されたら、[終了] をクリックします。



● [インストール] (再起動の確認) 画面が表示されたら、[OK] をクリックします。



コンピュータが再起動し、インストールが完了します。

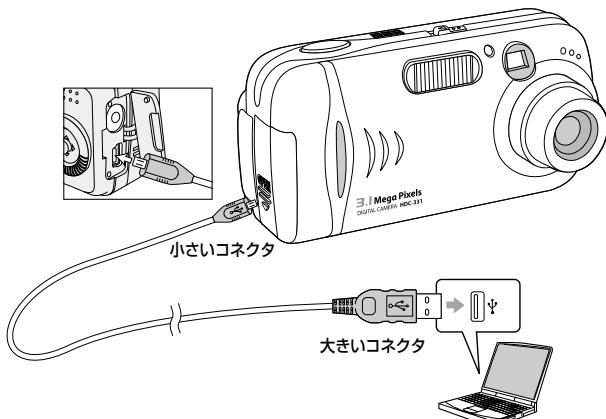
インストールが完了したら、③ USBケーブルでパソコンと接続する P71 に進んでください。

- HDC-331 Driverをアンインストール（削除）する場合は、HDC-331 Driverをアンインストール（削除）する P76 の手順に従って操作してください。

③ USBケーブルでパソコンと接続する

- Windows98/98SEをお使いの場合は、カメラとパソコンを接続する前に、
②HDC-331 Driverをインストールする P69 を行う必要があります。
- カメラとパソコンを接続する場合は、必ずカメラの電源をオフにして行ってください。
- カメラとパソコンを接続する場合は、電池の残量が十分にあることを必ず確認してください。
パソコンとの接続中は、オートパワーオフ機能ははたらきませんが、
電池残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
接続中にカメラの電源がオフになると、パソコンが正常に動作しなくなったり、
記録されているデータが破損する恐れがあります。
長時間ご使用の場合は、別売のACアダプターでのご使用をおすすめします。
ACアダプター(別売)を使う P52

- カメラの電源がオフになってるかを確認します。オフになっていない場合は、電源スイッチをスライドさせて電源をオフにします。
- USBケーブルの大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ接続し、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。



- 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。

- 初回接続時は、「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ]をクリックし、画面の指示に従ってください。
「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- WindowsXPでは、OS側の自動再生ウィザードが表示されるように設定されています。
その場合は、[何もしない] を選び、[OK] をクリックします。



- カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。

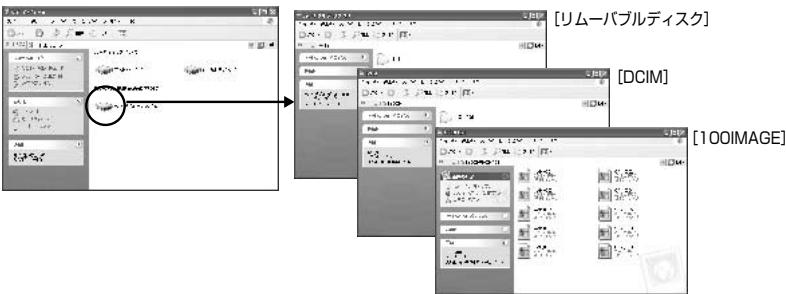
USB接続時のご注意

- USB接続時はモードダイヤルの位置に関わらずパソコン接続モードになります。
 - 液晶モニターは表示されません。
 - オートパワーオフ機能ははたらきません。
 - 電源はパソコン本体から供給されません。
 - 通信中にUSBケーブルを抜いたり、カメラ（インターフェースカバー、コントロールパネル、モードダイヤル、シャッターボタンなど）に触れないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ずカメラを取り外すときは P75 に従って操作してください。

④ 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続）

- Windows98/98SEをお使いの場合は、カメラとパソコンを接続する前に、
②HDC-331 Driverをインストールする [P69](#) を行う必要があります。
- 市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作
で画像ファイルを任意の場所（マイドキュメント内など）へコピーしてから行うこ
とをおすすめします。

- ③USBケーブルでパソコンと接続する [P71](#) に従い、USBケーブルで
カメラとパソコンを接続します。
- [マイコンピュータ] 内の [リムーバブルディスク] をダブルクリック
して開きます。
・[リムーバブルディスク] が表示されていない場合は、故障とお考えになる前に
[P83](#) をご覧下さい。
- [DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。
- [100IMAGE] フォルダをダブルクリックして開きます。



- パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、
任意の場所（マイドキュメント内など）にドラッグ＆コピーしてコピー
します。



ドラッグ＆ドロップ・・・

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作に
よってデータやファイルの移動を行うこと。画面上
でマウスポインタがファイルのアイコンなどに
重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの
状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所で
マウスのボタンを離す（ドロップ）こと。

- 同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ
(カメラ) 内にドラッグ＆ドロップしてコピーすることができます。

- コピー（通信）中は、カメラのファインダーランプ（グリーン）が点滅します。
点滅している間は絶対にUSBケーブルを抜いたり、カメラ（インターフェース
カバー、コントロールパネル、モードダイヤル、シャッターボタンなど）に
触れないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ内にコピーしたデータは、フォーマットする [P64](#) 操作を行うと、
すべて消去されますのでご注意ください。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

フォルダ名について：

XXXIMAGE
（動画ファイル
はAVI_）
（動画ファイル
はavi）
（100～999）
（0001～9999）

ファイル名について：

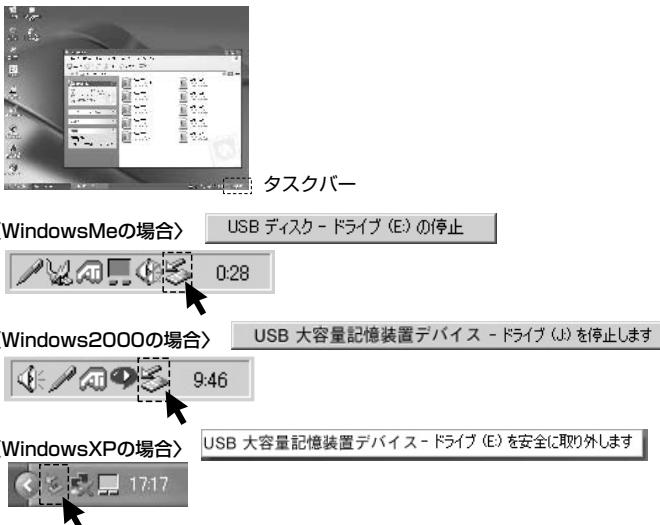
CAM_YYYY.jpg
（動画ファイル
はAVI_）
（動画ファイル
は.avi）
（0001～9999）

フォルダの通し番号は内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする [P60](#)
操作を行った際に一つあがります。

⑤ カメラを取り外すときは

- カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
- この操作はWindows98/98SEをお使いの場合は必要ありません。

- カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。
- タスクバー上の【ハードウェアの取り外し】アイコンをクリックし、取り外す(カメラ)のドライブを選んで【停止します(取り外します)】をクリックします。



停止します(取り外します)をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

- 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、【OK】をクリックします。
(Windows XPでは【OK】のクリックは不要です。)

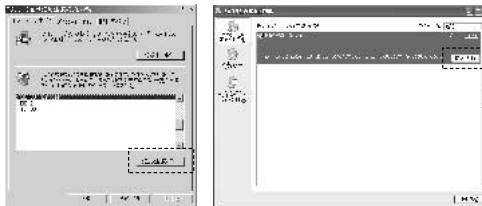
- カメラを取り外します。

カメラを取り外す前に、カメラとパソコンが通信中(ファインダーランプ(グリーン)が点滅)でないことを必ず確認してください。

■HDC-331 Driverをアンインストール(削除)する

- HDC-331 DriverはWindows98/98SEをお使いの場合にインストールします。アンインストール(削除)は、インストールしたHDC-331 Driverが不要になった場合のみ行ってください。
- カメラとパソコンを接続した状態では行わないでください。またパソコンのアプリケーションはすべて終了しておいてください。

- 【マイコンピュータ】内の【コントロールパネル】内から【アプリケーション(プログラム)の追加と削除】をダブルクリックします。
- 【HDC-331 Driver】を選んで、【追加(変更)と削除】をクリックします。



- 【Select Uninstall Method (アンインストールの方法)】画面が表示されたら、オプションから【Automatic(自動)】を選び、【Next(次へ)】をクリックします。



- 【Perform Uninstall (アンインストールの実行)】画面が表示されたら、【Finish (終了)】をクリックします。



【Finish (終了)】をクリックすると、アンインストールが実行されますので、操作は慎重に行ってください。
HDC-331 Driverのアンインストールが開始され、完了します。

付録

故障とお考えになる前に	79
仕様	87
サービス／ご相談窓口	92
クイックスタートガイド「とにかく使ってみる」	93

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	•レンズキャップを外していない。	→レンズキャップを外す。
	•電源スイッチのスライド動作が早すぎた。	→もう一度ゆっくりとスライド動作を行う。
	•モードダイヤルが正しく切り替えられていない。(起動画面のまま)	→モードダイヤルを正しい位置に設定する。
	•電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。P19
	•電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P19
	•内部システムなどの誤操作。	→電池カバーを一度開閉し、もう一度ゆっくりと電源スイッチをスライドする。
	•温度が極端に低いところで使用している。	—
電池の消耗が早い。	•高解像度、ストロボ撮影を多用している。	—
	•オートパワーオフ機能がはたらいた。P21	→もう一度電源をオンにする。
電源が途中でオフになる。	•電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P19
	•温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	—
電池の残量表示が正しく表示されない。	•電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P19
	•ストロボ充電している。(ストロボ発光モードに切り替えた直後)	→充電が終わるまで待つ。

静止画／動画を撮る / /

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	•モードダイヤルが  /  /  になっていない。	→モードダイヤルを  /  静止画撮影モード／  動画撮影モードにする。P12
	•液晶モニターの表示設定が、「表示オフ」になっている。	→  /  (ディスプレイ) ボタンで切り替える。P17

症状	原因	処置
起動画面が表示されたまま止まっている。	•モードダイヤルが正しく切り替えられていない。(起動画面のまま)	→モードダイヤルを正しい位置に設定する。
撮影できない。	•画像記録中にシャッターボタンを押した。	→ファインダーランプ(グリーン)の点滅が終わってから撮影する。
	•ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→ファインダーランプ(グリーン)の点滅が終わってから撮影する。
	•静止画撮影時、モードダイヤルが  /  になっていない。	→モードダイヤルを  静止画撮影モードにする。
	•動画撮影時、モードダイヤルが  にならない。	→モードダイヤルを  動画撮影モードにする。
	•オートパワーオフ機能がはたらき、電源がオフになった。P21	→もう一度電源をオンにする。
	•メモリ残量がない。	→内蔵メモリまたはメモリーカード内の画像を消去する。P41 か、別のメモリーカードと交換する。P23 →画像サイズを小さくする。P53
	•メモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「SDカードロック!」が表示)	→メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P24
ストロボ撮影ができない。	•ストロボモードが  発光禁止(初期設定)になっている。	→ストロボモードを  オートまたは  赤目軽減(オート)、夜景  、強制発光  にする。P34
	•  マクロモードになっている。	→標準モードに切り替える。P36 または、再度ストロボモードを選択する。P34
	•被写体が明るい。	→強制ストロボモードに切り替えてください。
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	•被写体が遠い。	→ストロボ連動範囲(約0.5～約3.0m(W)／2.5m(T))で撮影する。
	•ストロボに指がかかっている。	→カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	•  マクロモードで遠景を撮影している。	→標準モード(約60cm～∞)に切り替える。P36

症状	原因	処置
画像がぼやけている	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲（マクロ時：約20cm～約50cm、標準時：約50cm～∞）で撮影する。
	●レンズが汚れている。	→レンズをメンテナンスする。 P8
	●画像ブレ、手ぶれ	→  (画像記録中) アイコンが表示されるまで、カメラを固定して撮影する。 P28 →三脚を使うなどして、カメラを固定して撮影する。
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリ残量がない。	→内蔵メモリまたはメモリーカード内の画像を消去する P41 か、別のメモリーカードと交換する。 P23
再生できるのに撮影できない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P19
内蔵メモリに記録できない。	●メモリカードが装着されている。	→電源をオフにしてメモリーカードを外す。 P23

静止画・動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●モードダイヤルが  になっていない。	→モードダイヤルを  再生モードにする。 P12
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—

画像を消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。 (液晶モニターに「SDカードロック！」が表示)	→メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。 P24
	●画像にプロテクトがかかっている。 (液晶モニターに「プロテクト！」が表示！)	→画像のプロテクトを解除する。 P63
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

テレビを使って再生／撮影する

症状	原因	処置
テレビに画像が表示されない。	●テレビの入力切り替えが正しく設定されていない。	→テレビの入力切り替えをビデオ入力モードにする。
	●ビデオケーブルが正しく接続されていない。	→テレビとカメラからビデオケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。
テレビの画像が乱れている（カラーにならないなど）。	●[ビデオモード] の設定が [PAL] になっている。	→[NTSC] に切り替える。 P43

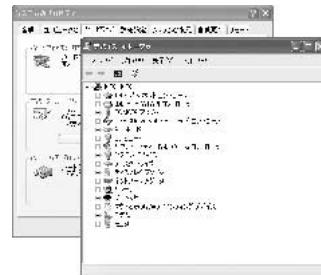
画像ファイルをパソコンにコピーする

症状：カメラがパソコンに認識されない。
([リムーバブルディスク] が表示されないなど)

原因	処置
●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使う。
●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P71 →他のUSBポートに接続する。
●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
●HDC-331 Driverがインストールされていない。(Windows98/98SEをお使いの場合)	→HDC-331 Driverをインストールする。 P69
●Windows98/98SEをお使いの場合で、HDC-331 Driverをインストールする前に、カメラとパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。 [デバイスマネージャ]を開き、[その他のデバイス]が表示されていないか確認してください。	→[その他のデバイス]が表示されていたら、認識されなかったデバイス（「？」マーク）を[削除]しパソコンを再起動してから、HDC-331 Driverをインストール P69する。
●HDC-331 Driverの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。 [デバイスマネージャ]を開き、[USB (ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認してください。	→[USB大容量記憶デバイス]に、黄色い「！」マークが付いているときは、[USB大容量記憶デバイス]を[削除]してから、カメラを取り外し、再度接続し直す。
●パソコンのUSB機能が有効になっていない。 [デバイスマネージャ]を開き、[USB (ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認してください。	→[USB (ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB (ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。

〈デバイスマネージャ〉

〔デバイスマネージャ〕は、〔マイコンピュータ〕から右クリックで〔プロパティ〕を選ぶか、〔コントロールパネル〕から〔システム〕をダブルクリックして、〔システムのプロパティ〕から開きます。



症状：USB接続してもカメラの電源がオフになる。

原因	処置
●電池残量がない	→新しい電池と交換する。P19 →別売のACアダプターを使用する。P52
●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P71 →他のUSBポートに接続する。
●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。

症状：カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。

原因	処置
●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→カメラを取り外すときは P75 に従って操作する。

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	•[表示言語 (LANGUAGE)] が [ENGLISH] なっている。	→[表示言語] を [日本語] に切り替える。P47
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	•液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
デジタルズームができない。	•液晶モニターを「表示オフ」にしている。	→液晶モニターをオンにする。P17
	•画像サイズが 3M (2048×1536) になっていない。	→画像サイズを 3M (2048×1536) に設定する。P53
OK を押したのに設定が有効になっていない。	•【◀】(戻る) / 【▲】/ 【▼】が先に押された。	→OK をまっすぐに押す。
カメラの操作ができない。(ファインダーランプの点灯が消えないなど)	•内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →メモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。P23 →別のメモリーカードと交換し、確認する。 →お買い上げ販売店へご相談ください。
	•電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P19

警告表示など

症状	原因	処置
SDカードロック！	•メモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。	→メモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P24
SDカードが一杯です！	•内蔵メモリまたはメモリーカード内の画像を消去する	→内蔵メモリまたはメモリーカード内の画像を消去する P41 か、別のメモリーカードと交換する。P23 →画像サイズを小さくする。P53
画像がありません！	•再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。
プロテクト！	•画像にプロテクトがかかっている。	→画像プロテクトを解除する。P63
REC	•撮影した画像を保存しています。	

■ 仕様

有効画素数	約315万画素
撮像素子	1/2.7インチCCDイメージセンサー（総画素数：約327万画素）
記録媒体	内蔵16MBフラッシュメモリ、SDメモリーカード（32/64/128/256/512MB対応）（※）
静止画	記録画像ファイルフォーマット JPEG準拠（DCF1.1、EXIF2.2準拠）
	記録画素数 2048×1536ピクセル、1600×1200ピクセル、1280×960ピクセル、1024×768ピクセル、640×480ピクセル
	JPEG圧縮率 フайн（低圧縮（1/4）モード）/ノーマル（標準圧縮（1/8）モード）/ベーシック（高圧縮（1/12）モード）
動画	記録画像ファイルフォーマット AVI（Motion JPEG、音声なし）
	記録画素数 320×240ピクセル
	フレームレート 30フレーム/秒
レンズ	構成 3群5枚（非球面レンズ3枚）
	焦点距離 [35mmフィルム換算] f=5.8 (W)～17.4 (T) mm [35 (W)～105 (T) mm]
	F値（最大値） F3.1 (W) / F5.2 (T)
オートフォーカス方式	コントラスト方式AF
ズーム	光学ズーム：3倍、デジタルズーム：2倍（光学ズーム併用時最大6倍）
液晶モニター	1.5型TFTカラー液晶、約6.3万画素（288×220ピクセル）
ファインダー	液晶モニター／実像式光学ズームファインダー（視野率70%以上（3m）、倍率0.27倍（W）～0.75倍（T））
撮影可能範囲	標準：約50cm～∞、マクロ：約20cm～約50cm
シャッター	メカニカルシャッター、1/4～1/1000秒
撮像感度	オート（ISO100～200相当）
測光方式	中央部重点平均測光（64ポイント測光）
露出	制御方式 プログラムAE
	補正 オート、-2.0EV～+2.0EV（0.5EVステップ）
ホワイトバランス	オート/太陽光/曇/白熱灯/蛍光灯 切り替え
ストロボ	連動範囲（推奨） 約0.5m～約3.0m（W）/約2.5m（T）
	発光モード オート/赤目軽減（オート）/夜景/強制発光/発光禁止
セルフタイマー	タイマー：時間10秒/2秒 切り替え
再生モード	シングル再生（1倍/2倍/4倍）、インデックス再生、スライドショー再生、動画再生
オートパワーオフ	1分間/3分間/5分間 切り替え
インターフェース	USB（1.1仕様、mini-B）、ビデオ出力（NTSC/PAL 切り替え）、DC入力（AC/DC 2.5A/3.0V）
電源	単3形乾電池2本（アルカリ乾電池／ニッケル水素充電池（別売））、ACアダプター（別売）
外形寸法	幅112×奥行37×高さ56mm（突起部除く）
質量	約160g（電池、付属品除く）
使用条件	0°C～40°C、湿度90%以下（結露しないこと）
付属品	専用USBケーブル、専用ビデオケーブル、ネックストラップ、カメラポーチ、レンズキャップ、クリーナー、インストール用CD-ROM、単3形アルカリ乾電池2本、取扱説明書（保証書付）

※ SDメモリーカードは別売です。（株）アイ・オー・データ機器のSDメモリーカードを推奨します。
詳細は（株）アイ・オー・データ機器 ホームページ <http://www.iodata.jp/> をご覧ください。

画像記録枚数・時間／データサイズ

記録画素数（ピクセル）	JPEG圧縮率	1コマのデータサイズ	内蔵16MBフラッシュメモリ	SDメモリーカード32MB（別売）
2048×1536（約315万画素）	ファイン	約1,500KB	約11枚	約20枚
	ノーマル	約780KB	約21枚	約39枚
	ベーシック	約520KB	約31枚	約59枚
1600×1200（192万画素）	ファイン	約960KB	約17枚	約32枚
	ノーマル	約480KB	約34枚	約64枚
	ベーシック	約320KB	約51枚	約97枚
1280×960（約123万画素）	ファイン	約615KB	約27枚	約50枚
	ノーマル	約307KB	約54枚	約101枚
	ベーシック	約205KB	約81枚	約151枚
1024×768（約79万画素）	ファイン	約390KB	約42枚	約79枚
	ノーマル	約196KB	約84枚	約158枚
	ベーシック	約131KB	約126枚	約237枚
640×480（約31万画素）	ファイン	約154KB	約108枚	約202枚
	ノーマル	約77KB	約216枚	約404枚
	ベーシック	約51KB	約324枚	約606枚
320×240【動画】	－	約231KB/秒	約90秒	約168秒

- ・画像記録枚数・時間及びデータサイズはあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安（液晶モニターオン、内蔵メモリ使用時）

電池種類	連続撮影時	循環撮影時		再生時間
		ストロボ発光	ストロボ無し	
単3形アルカリ乾電池LR6	約270枚	約115枚	約160枚	約140分

- ・撮影枚数・再生時間は、標準環境において、2048×1536／ノーマルモードで、以下の条件で撮影した場合、約3秒1コマを連続で再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。

ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。

【連続撮影】ストロボ無しでの撮影を連続で行った場合

【循環撮影】被写体確認5秒→撮影→再生5秒を繰り返し行った場合

※両条件ともにメモリ残量がなくなった時点で全ての画像を消去。

メモ

メモ

付録

メモ

日立家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いに
についてのご相談は
TEL 0120-8802-28
FAX 03-3260-9739

*フリーダイヤルされると、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所 在 地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5(日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区新守町59(日立家電新守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18(博多渡辺ビル)

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

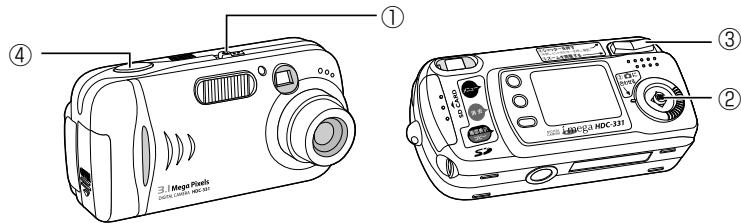
株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス

<http://www.hitachi-ls.co.jp/>

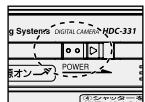
とにかく撮ってみる

詳しくは静止画を撮る P27 をご覧ください。

メモリーカードを使う場合は、SDメモリーカードを使う場合 P23 に従って、電源をオンにする前にメモリーカードを挿入してください。



① 電源をオン



電源スイッチをスライドさせて、カメラの電源をオンにします。

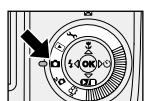
初めてお使いになる場合は、日付/時刻を設定する画面が表示されます。



【▲】【▼】 : + - 【◀】【▶】 : 数値の決定と項目の移動

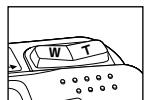
【▲】【▼】【◀】【▶】で設定し、「分」まで合わせたら **OK** を押します。日付/時刻を合わせる P22

② □に合わせる



モードダイヤルを □ にします。

③ ズームを調整する



T / **W** ボタンを押してズームを調整します。

T : 被写体を拡大します (望遠)。

W : 被写体を小さくします (広角)。

④ シャッターを押す

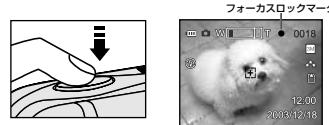
シャッターは半押しと全押しの2段階で動作します。

シャッターの押し方 P28

半押しと全押しの操作(感覚)については、実際に撮影される前に必ずお試しください。

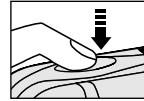
● シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます (フォーカスロック)。

● “ピピッ”という音と、● (フォーカスロックマーク) の表示でピントなどが自動設定されたことをおしらせします。



● 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます (全押し)。

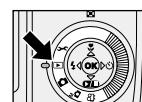
● “ピーッ”という音と □ 画像記録中アイコンの表示で撮影されたことをおしらせします。



撮影した画像を見る

詳しくは静止画/動画を見る P39 をご覧ください。

① □に合わせる



モードダイヤルを □ に合わせます。

最後に撮影された画像が表示されます (シングル再生)。

② 【◀】【▶】で画像を選びます



● ズーム再生 : シングル再生で表示された画像を2倍、4倍でズーム再生できます。

1倍 → **T** → 2倍 → **T** → 4倍

4倍 → **W** → 2倍 → **W** → 1倍

【▲】【▼】【◀】【▶】を押すと表示位置を変更できます。

● インデックス再生 : シングル再生時に □ インデックス再生ボタン (【▲】) を押すと、液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。